

SEIKAJIN

Kyoto Seika University
Alumni Association KINOKAI 2017

精華人 vol. 25

京都精華大学同窓会 木野会
<http://seikajin.com/>

特集
活躍する精華人
美術・工芸編



活躍する精華人

(美術・工芸編)

2018年 京都精華大学(京都精華短期大学)は創立50周年を迎えます。

同窓会木野会では2018年9月に創立50周年を祝って、68年度生の一期生から2014年度生(2018年卒業生)までの卒業生の作品を一同に集めた展覧会を企画しています。

開学当時の写真からは見違えるくらいの施設や学生数に発展し、現在京都精華大学は、約3万人を数える多くの卒業生を送り出してきました。

精華人達(同窓生・卒業生)はそれぞれ道を選び、精華大学で学んだ何かを生きし歩んでいます。教職に着いた者、企業に従事する者、起業した者、家事や育児に勤しむ者、海外に拠点を移した者 多種多様な生活スタイルの中、ずっと作品作りを発表し続けている精華人をここで一部紹介し、

2018年秋開催の「ART FESTIVAL IN SEIKA」に繋がます。

●京都精華大学創立50周年記念企画「ART FESTIVAL IN SEIKA」の詳細については、決定次第ホームページ等で発表いたします●



卒業して40年。今、やっとやりたい事を楽しんでいます。

子供が、巣立ったのを機に、仕事の傍らガラス彫刻の勉強に東京に通う日々が数年続き、仕事を辞め5年前自分の工房を開設しました。この、こだわり工房には学校の先輩の和田鈴子さんの工房がありました。何時かは私も自分の工房を持ち作品作りをしたいと思う様になり、沢山の刺激を頂いた事で今、ガラス作りを楽しんでいるのだと思っています。



現在もサンドブラスト、フュージング、パートドウェールとまだまだ勉強する日々ですが頑張っています。精華に工芸ガラスの学科があれば、いま一度学生に戻りたいと思うばかりです。

田中久美子

(75P)

イル・チエロ ガラス彫刻

二〇一一年 熊本市北区和泉町、フードパル熊本こだわり工房にてサンドブラストガラス彫刻工房を開設
●久留米市総合美術展入選
●八女総合美術展入選
●筑後市美術展工芸部門毎日新聞社賞入賞
福岡市アクロス・熊本県伝統工芸会館・他ギャラリーにて作品展開催

(68D)

和田鈴子



アトリエ花の木 造形作家

(個展)

●不二画廊(大阪)、ギャラリー古雅(大阪・佐世保)、ギャラリーいちゅう(京都)、ギャラリーおいし(福岡)、熊本県伝統工芸館(熊本)、他多数

(グループ展)

●異類異型展(大阪府立現代美術センター)、ボレアス・バンクーバー展(バンクーバー日系文化センター)、8+9現代美術展(長崎歴史文化博物館)、木野Q展(熊本県立美術館分館)、他多数

- 在学中の思い出
- 一つの課題に対して、表現の可能性を求めて、三点作品を制作する事を課題としていた。
- 美術手帖に取りあげられる作家になりたいと思っていた。
- 一九九一年に実現した。
- 制作する際のこだわり
- 制作表現で素材が変わる(錫、木、土、ガラス、アクリル、油絵具、他)。
- 同じ物は制作しない。



深田 充

(75S)



深田さんは、ロタンから、ブランクーシ、そしてイサム・ノグチへ続く現代抽象芸術の影響のもと制作されています。

作品は、巨木をイメージした、スチールの円柱二本と中央に錆びた円柱を配して、床に正方形の鉄を敷いて構成し、円柱は、磨いて鏡面にして、周りの景色や見る人の姿が映り、森の中の広がり、深みが映りこむように構成し、森の中の周囲の音を合成した音楽を流して、インスタレーション的な作品でした。

精華は、細かい拘束もなく、自由奔放にやらせてもらったのが、今につながっているようで、村上泰造先生や、金属の面白さを長谷川昇先生から、小林陸一郎先生からランドスケープの面白さを学び、コンペに出すきっかけになった。

これから美術家になる人への、アドバイスとして、大きな夢を持って、それに対して妥協せず諦めず、波あり谷あり続けることで、夢が現実化する。いろんな人の作品を見たり、いろんな知識を得て影響を受け、中途半端にやらず、あきらめず命がけで頑張つてほしい。ということでした。私は、素晴らしい優れた作品だと思いました。いろんなことを学んだ一日でした。

〔取材：西川英行(88H)〕



設を使わせて貰うことで、個展やグループ展に出品する為の制作活動を続けていました。

この環境から出て生活したことのない私は何となく息苦しさを感じ始めていました。何処か海外で制作出来る所はないかと探していた時、友人を通してシンガポールで陶芸教室の講師の仕事を得た！2008年にシンガポールに移住して、陶芸を教えながら自宅にスタジオも構え作家活動をしています。

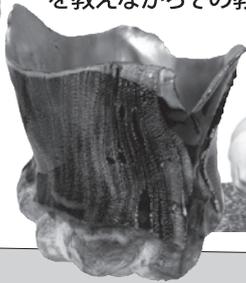
この国ではまだまだ"陶芸・陶器"に馴染みがなく、アートとして確立していません。そういった意味ではこれから大きな可能性のある国だと思います。日本の文化と関連させながらもっと陶芸の親しみかたを広めていきたいと思っています。陶器を生活の一部として楽しめる、そんな食卓になればいいと願っています。

絵を描くより工作の方が好きな子供でした。陶芸を専攻したのもその延長線かも知れません。入学後は周りの友人も作ることが好きな人が集まっていたこともあり、もの作りがもっと楽しくなり毎日充実した学生生活でした。今では考えられない土の塊を数日かけて焼くと言うような大きなオブジェを中心に作っていました。そんなとんでも無いことも認めてくれる先生がおられたからです。

(201MC)

山口 紗矢

2003年大学院卒業後は陶芸教室を転々とし、陶芸を教えながらその教室の施設



小学校で教えていることは、私にとって勉強になっています。子どもたちの柔軟な発想力に驚かされ、私の作品にもいい刺激になって生きています。活動としては、公募展や、個展を中心に活動しています。二〇一五年には「京展」で京都市美術館長奨励賞を頂き、二〇一六年一月「琳派四〇〇年記念新鋭選抜展」で京都文化博物館に展示して頂きました。また、二〇一四年と二〇一六年にギャラリーマロニエ(京都)で個展を開催。これからも、子どもたちに絵を教えるいきながら、制作活動をしていき自分の作品を高めていきたいです。



卒業後は京都市内の小学校で図画工作の非常勤講師をしながら、染色の型染めの技法を用いて制作を続けています。

繋がりが、とても有意義な三年間でした。大学院、研究生の時よりも、大きな作品を制作することが出来て、先生や他の専攻の先生、専攻の違う友達と頑張っていたのが印象に残っています。

松谷 歩

(205T)
(211MA)



私は精華大学、大学院、研究生と計七年間精華大学にお世話になりました。

入学当初、いろんな場所にアートがあり、例えば建物と建物の間に大きいシャツが展示されていたり、あちこちで学生が作った雑貨や陶器が売っていたりして作品を見るだけで楽しい毎日を送っていました。

大学では、染織を本格的に学びました。先生から教わることの二つが、新鮮で制作を楽しんでいました。そして合評前になると夜遅くまで、同じ学科の友達と共に頑張っていたのが印象に残っています。

大学院、研究生の時よりも、大きな作品を制作することが出来て、先生や他の専攻の先生、専攻の違う友達と繋がりが、とても有意義な三年間でした。

杉浦章介

(73S)

学生時代の記憶と言えば、暇があれば中庭で焚火をしたり、炭を熾して肉を焼いたりしていた事だ。授業を受けてはいたが、その記憶は遥か彼方に飛んでゆき、うつつらしたモノである。

そんな火遊びを覚えてくれたのが、立体の教授「村上泰造先生」である。この人、美味しいモノには目が無く、絶えず食い物の事ばかり考えていたような気配があった。

季節の中で、西に美味しいモノがあれば、学生を引き連れ遠征をしたり、東の琵琶湖に食用カエルがあれば、バケツを抱えて捕獲に向かうと言ったものでした。そうして手に入れた美味しい食材は、焚火を囲んでの宴となったのであります。だからでしょうか、今も私は火遊びに明け暮れている。(放火とか悪い事はしてませんが) 現在、愛知県にて薪ストーブビルダーとして仕事をしている。

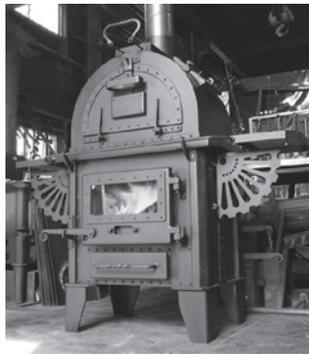
もともと道楽が高じて始めた薪ストーブ造りだったが、その面白さや奥深さの虜になり、日夜ストーブの事ばかり考えている。その薪ストーブも、やはり美味しい料理を作りだすモノになっている。

今、また新たに取り組んでいるのは、携帯出来るストーブ「ロケットストーブ」である。

車に積んで現地で料理や暖房も出来るのである。村上先生が見たらきつと欲しがるであろう一品であると確信しております。



「鉄の仕事屋で検索」

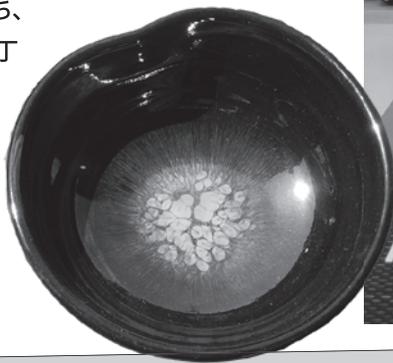


季節の中で、西に美味しいモノがあれば、学生を引き連れ遠征をしたり、東の琵琶湖に食用カエルがあれば、バケツを抱えて捕獲に向かうと言ったものでした。そうして手に入れた美味しい食材は、焚火を囲んでの宴となったのであります。だからでしょうか、今も私は火遊びに明け暮れている。(放火とか悪い事はしてませんが) 現在、愛知県にて薪ストーブビルダーとして仕事をしている。

信楽出身。卒業後、奥田和夫氏に師事。その後、信楽町内の作家の素生地成形の委託を約20年間行いながら、自身の焼きものづくりに移行する。40歳で「楽耀舎(らくようしゃ)」を立ち上げ、現在は試行錯誤の結果、独自の釉薬を用いた作品づくりで注目されています。

その釉薬は静かな湖のようにも、広い夜空のようにも思われる深い深い群青色で一目で惹き込まれます。

常にモチベーションを高く保ち、お客のニーズにひとつずつ丁寧に応えることを心情とする「職人氣質」を大切にされた器は、京都の料理屋さんをはじめ全国各地の料理屋さんへと広がりつつあります。



杉本泰彦

(72S)

楽耀舎 / ろくろ師刻
滋賀県甲賀市信楽町長野947
☎0748-182-8066

現在、母校の高松工芸高校デザイン科教諭として勤務しています。

指導した生徒達は、日本政策金融公庫主催「高校生ビジネスプラングランプリ」等の企画系の全国大会に五年連続ファイナリストとして出場し、昨年は準グランプリを獲得しました。

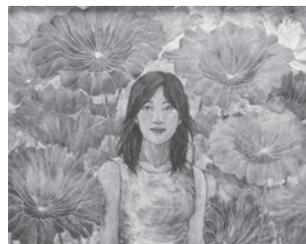
今年出場した東北芸術工科大学主催「全国高等学校デザイン選手権大会」では優勝し、文部科学大臣賞を受賞しました。

また高松市菊池寛記念館発行の文藝「もず」の表紙や挿絵を十五年間担当しています。



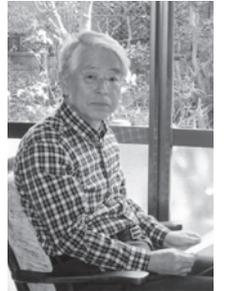
西澤智子

(91J)



寺島廣美

(68P)



京都市山科区在住

精華を卒業し、独立展、一陽展への出品を経て賞は五六年に恩師の誘いを受けて諸先生方や同士十七名と共に汎具象美術協会（絵画）を設立致しました。

東京一極集中の公募展の中、地方（京都）から清新的な芸術を創造しようという意気揚々とした旗揚げでした。順調に回を重ねて来たのですが、三十五回汎具象展を終えた本年、創設当時のメンバーは私を含め四名となりました。しかし、毎年、出品者も増え、現在は会員三十五名、会友十五名が在籍しています。小さな会ながらも純粋な創作芸術活動で地域の文化向上に貢献できればと思っています。

五年前、会社を退職し「さあこれから思う存分に打ち込むぞ」と意気込んでいました。今まで絵が進まないのは時間が足りないからと思っていました。ところが時間が出来てもなかなか作品は進展しません。私の恩師もまたその師も「七〇歳までは勉強、その歳を超えたらいい絵を描こう」と言っておられました。来年私はその古稀を迎えますが、いい絵どころか年追うごとに闇は深くなり一筋の光すら見え、道に迷うばかりの今日この頃です。



34 回汎具象展「ククルカン神殿の夢」

昭和 32 年に京都の西陣で生まれ、京都精華大学美術学部在学中に「第5回京都日本画美術新人展」に入選（昭和 55 年）しました。平成 14 年には、八日市図書館 [現滋賀県東近江市立八日市図書館] で初の個展を開きました。以来、ホテルのラウンジなどに出品させていただいています。



西陣黒門



祇園界限

いつもペンとスケッチブックを持ち歩き、自分の気に入ったモチーフを見つけると、すぐ制作に取りかかります。

ペンは友だち 絵の具はごちそう

「ペンを友だちのように生かしながら構図を決め、絵を創り上げる。そして絵がおいしそうに仕上がるよう絵の具で味付けしていく。」

そんな時が私の一番楽しいひとときです。

(79XZ)

小 畠 由 佳 理



西 村 識

(旧 渡辺)
(201M)



京都精華大学が、二〇一八年に五〇周年を迎えるとき六〇年代から現在までのイラストを表紙に描きました。私が在籍していた二〇〇〇年頃に、デザイン学部からマンガ学部になって自在館が建てられたと思うのですが、そんなことも薄っすらとした記憶で。当時はバイトや遊びに明け暮れていました。当然作品の出来も悪くヨシトミ先生に酷評されました。もっと真面目に絵の勉強をすれば良かったと今になって、後悔しています。

しかし一年の時に描いた五〇〇枚以上のクロッキーは目に見えない私だけの財産になっています。現在、中学・高校で美術の教師をしています。が、学生の頃に泣きながら努力した記憶の方が鮮明に思い出され、どう指導するべきか自問自答の道しるべになっています。また、イラスト作家

として自分らしさを描き込んだ作品を描き続けていきたいと思えます。



まいど！信楽のタヌキです **しが支部だより**

信楽火祭りに参加しました。

2016年7月23日(晴れ)

今日はわがふるさと 仲間がいっぱいの信楽に帰ってきました。

信楽といえば、もちろん信楽焼の陶器です。

一度やってみたかった手作り陶器です。早速、工房で粘土版に取り組みますが、思い通りにならないのが土です。

まずは粘土を塩ビのパイプで薄く延ばしていきます。作品の見本を見ながら、プロに手伝ってもらい、粘土板を叩いたり、なだめすかしてようやくそれらしくなってきました。今日の作業はここまで。1か月乾かし、釉薬をかけ、窯に入れます。出来上がった作品は、釉薬のおかげで信楽焼らしく仕上がりました。が、はがれたり、パーツが取れたり、大変だったと窯元さんのおまけのコメントでした。



日も暮れていよいよ火祭りたいまつ奉納です。バーベキューで、腹ごしらえをして愛宕神社山頂を目指します。竹と木で出来たたいまつは、意外と重くて、燃え盛る火が勇壮な祭りを演出します。

たいまつを担いで出発しましたが、夏の暑さと火の熱気で汗だくです。沿道住民の方々の声援を受け、参道を進みます。いよいよ山道に入り、たいまつのパチパチと燃える音と、消火用の水でぬれてすべる山道にたいまつを落とさぬよう必死の形相で登ってたどりついた山頂は、感動でした。

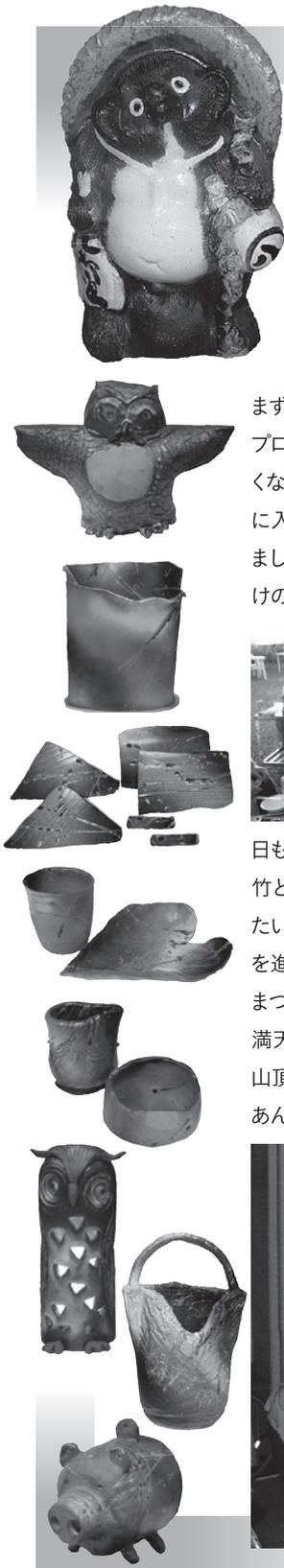
満天の星と打ち上げ花火と町の灯りが印象的で、日頃忘れていた気持ちのゆとりをとりもどせたようです。

山頂の愛宕神社にお参りして、もう一度たいまつをかつぎ、山を下っていきます。

あんなに遠く感じた山道ですが、下りは案外早く着きました。終点では、花火に負けにくいくらい力強い太鼓

の演奏があり、山積にされたたいまつと競演していました。住民の祭りに対する意気込みと熱意が感じられた火祭りでした。

帰りに愛宕神社の火除けのお札と記念メダルをもらい、ちょっと得した気分でした。信楽高原鉄道の終電10時4分に合わせて、解散。

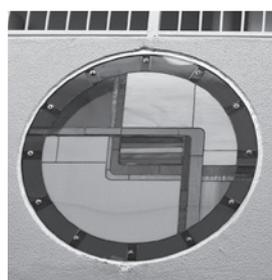


ガラス工芸作家 加藤明利 74T9

滋賀支部の精華人紹介

りをしてしています。な思いを込めて物作

大 きな建築素材、保育室のプレート、器
やオブジェにいたるまで、「こ
んなものを表現した
い」というよりも「ガ
ラスのこんな表情を
見て頂きたい」そん
な思いを込めて物作
りをしてしています。



（意識した
ことないと
思いますが
車のドアガ
ラスなどは、
厚み3ミリ
のおまけに
「小口」が

確かにガラスは「割れ物注意」のイメー
ジがあります。しかし、車のフロント
ガラスにしろドアのガラスにしろそんなに危
ないものだとしたら、使われていたはずな
（意識した
ことないと
思いますが
車のドアガ
ラスなどは、
厚み3ミリ
のおまけに
「小口」が

あ なたは「ガラス」という素材についてど
んなイメージをもっていますか？

冷たい・繊細・危険・きれい・etc

：長い間の素材と付き合ってきた、私はガ
ラスほど色んな表情を持った素材は他には無
いのではないかと、と思っています。



近畿支部・滋賀支部合同開催 信楽に殴り込み!

近畿支部
Kinki



なぐりこみ?
火をつける前のたいまつです



滋賀県甲賀市信楽町で、毎年7月に愛宕神社たいまつ奉納の火祭りがあります。

昨年は、滋賀支部でたいまつ奉納に参加しましたが、

近畿支部も負けてへんで!!

今回は、自前でたいまつを作ります。体力に自信のある人は、でっかいのを。ちょっと?という人は、それなりに、自在に大きさを変えてつくれます。

2017年7月下旬予定 信楽高原鉄道 信楽駅前集合

午後2時～ たいまつ作成 材料(竹、材木、針金等)はこちらで用意します。

午後4時～ 懇親会(バーベキュー)とにかく腹ごしらえです。

午後7時～ たいまつ奉納

信楽駅前の神社から愛宕山山頂を経て駅前広場まで約1時間のコースです。

無事奉納が終われば、記念のメダル、愛宕神社の火除けのお札がいただけます。

午後10時 信楽高原鉄道の終電に間に合うよう 解散。

(宿泊希望の方は、用意できます。翌日には、信楽焼の陶芸教室もあります)

参加者を募集

詳しくは、木野会のHPをご覧ください

<http://seikajin.com>

みなさんの参加をお待ちしています。

連絡先
スタッフ
募集中!

近畿支部長 西川英行 (88H)

hideyuki1970@ezweb.ne.jp 090-9272-1853

岡田裕子 202N

京都精華大学ではマンガの可能性を感じストーリーマンガ学科で学びました。現在は「マンガ」を媒体にして「伝統医療」の普及について研究しています。今年 は鍼灸の学会「世界鍼灸学会連合会学術大会-WFAS-」が日本で23年ぶりに行われ、1733名の方が世界中から参加されました。会場では今までの研究発表と『マンガの中の伝統医療-鍼灸の視点から-』という展示研究を行いました。伝統医療は医療費の削減が期待できる持続可能な医療だと言われています。そのような伝統医療を身近に感じてもらうことが、多くの人の健康に貢献できるだろうと考えています。今後もマンガで分かりやすく伝統医療を紹介しながら、研究活動を続けていきたいと思っています。 連絡先：090-9730-6630



伝統医療を漫画で紹介する冊子

WFAS での研究展示

武市游 200K

こんにちは! 武市游です。精華在学中、独特の身体感覚を持つ友人とのセッション中に人の身体に触れるのが引き起こされ、五月・木野祭とマッサージの模擬店を出すようになった経験が私の起点です。そして現在、オステオパシーという治療哲学を基軸に、『武市游の整体院 京都』を2016年の10月より四条烏丸にて開院することになりました。その患者さんの身体に合わせた優しく心地よい施術ですが、1~2度の施術でも頭の前から足の先まで様々な症状がすっきり快方に向かう、根本原因を治療する整体を目指しています。どんな事でもご相談ください。当日予約可。



『武市游の整体院 京都』

HP: seitai-kyoto-takeichi.com

住所: 京都市下京区善長寺町 139 AMI 四条烏丸 309

TEL: 075-746-5059 Mail: mt.oste.wood@gmail.com

近
畿
支
部
精
華
人
紹
介



KINO

木野Q通信 Vol.15

木野Q、11年目に突入

支部イベントの変更について

2016年3月、熊本で大きな地震が続き、多方面に被害が及びました。支部では当初、11月に宮崎・日南でのイベントを企画していましたが、四役にて話し合い、中止することに決めました。

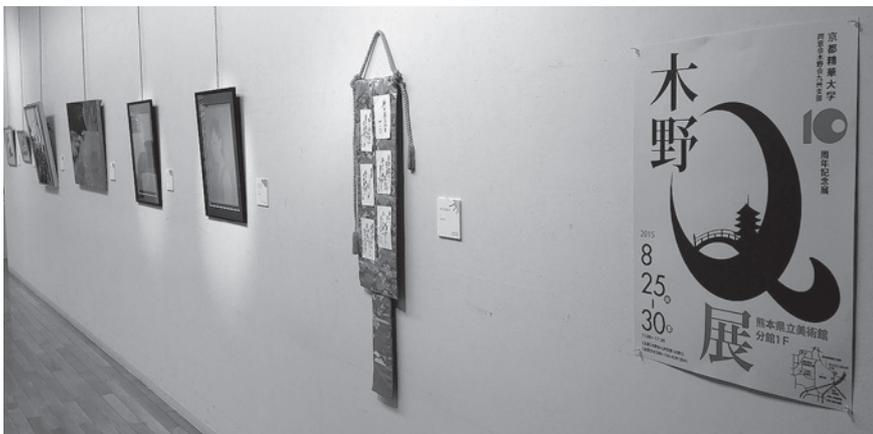
その代案として、熊本で集まって会員の交流を計る企画を立案中です。2～3月になると思いますが、決まりましたら改めて公表をいたします。



森山絨工房での藍染め体験イベント(2012年9月30日実施)

第11回 木野Q展予告!

2017年度の第11回木野Q展は、福岡にて予定しています。期間、会場等はまだ未定ですが、2～3月の木野Q展準備会議にて話し合いをいたします。ピエンナーレ形式となった、新しい「木野Q展」にご期待ください。なお、木野Q展では、平面、立体、書からパッチワークまで幅広い分野の作品の出品を受けつけています。会員のみならず、木野Q展に向けて作品の制作をお願いします。



第10回 木野Q展(2015年8月25日～30日・熊本県立美術館分館)

九州支部の今後の活動は、木野会のホームページやフェイスブック(グループを作成予定)などでも公表していきたいと思っておりますので、会員のみならずのご参加をお待ちしております。問い合わせ等ございましたら、下記アドレスまでアクセスしてください。よろしくお願いいたします。

木野会九州支部事務局 江口康成 (88C005)
パソコンメール: east_river_up@yahoo.co.jp 携帯: 090-6636-9756

二〇〇五年一〇月九日、博多都ホテルで設立総会が行われてから、はや十一年。メンバーは少しずつ入れ替わりながらも、高田支部長の牽引力で活動を続けてきました。支部の運営を決める支部会議や、会員の交流を計る支部イベント、そしてメインの活動となった「木野Q展」。

「木野Q展」は、熊本のメンバーを中心に企画・運営されており、二〇一五年八月、熊本県立美術館分館にて一〇回展を行うことができました。昨年より、支部イベントと木野Q展を交互に行うことになりましたので、二〇一六年度は支部イベント、二〇一七年度は木野Q展を実施いたします。木野Qはこれからも進化し続けていきます!

参加者
募集中



木野会西日本支部

KINO WEST

.....エリア.....

岡山・広島・山口・島根・鳥取
香川・愛媛・徳島・高知



ふるさと 精華人 土佐の塩丸

西日本支部唯一、太平洋に面した県。卒業後は大阪で就職したが、九年前に故郷高知に戻り家業を継ぐ二代目。満潮時に汲み上げた海水を、火力を使わず天日や風の力で結晶させる。自然の力で産み出す塩の「おもり」をする。これが彼の肩書き。

『塩守り』完成まで夏は一ヶ月、冬は二ヶ月間。自然と対話しながら塩を育てる。土佐の塩丸。ソラウミカゼヒカル。完全天日塩のバイオニアと云われる初代の味を継続。有名料理人やテレビで活躍されている方や一般家庭まで。各方面で愛用されている塩。こんな塩守精華人が高知に居る。



2代目 塩守 吉田 拓丸さん (201L) ▶

有限会社ソルティープ
高知県幡多郡黒潮町灘 333
☎0880-55-3226
Facebook 土佐の塩丸




Photo: kenzo nakajima

『高見島プロジェクト』エクト観賞ツアー2016

十一月三日、気圧配置は西高東低。強い季節風が吹く中ツアーは敢行。瀬戸内国際芸術祭も三回目を向かえるが、鑑賞者の数は減る事はないようだ。高見島への港、多度津港は鑑賞者でいっぱい。どうやら既に島内には三百人もの人が上陸しているらしい。

午前十一時発のフェリーも超満員。座る席が無いので甲板に立つ。普段は穏やかな瀬戸内だが今日は白波が立っている。揺れる。二十五分我慢すれば目的の高見島である。

車輪甲板から高見島港へ上陸。猫が出迎えてくれる。観賞スタート。

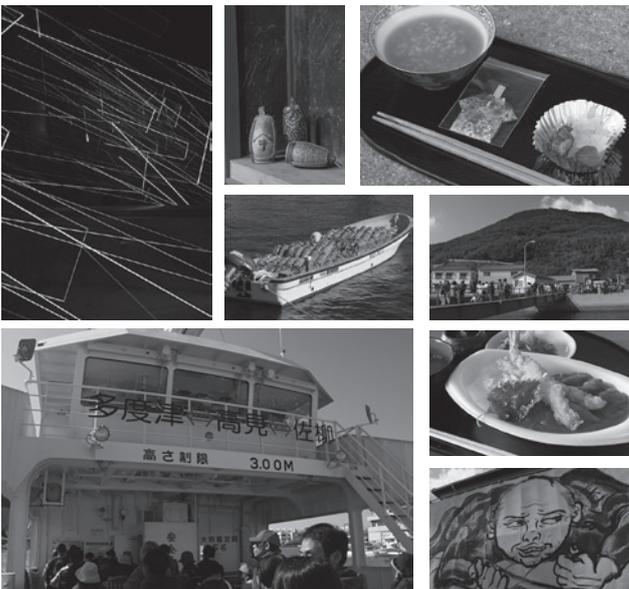
今度は急な坂道が足腰を襲う。道が細いのですれ違いのにも「苦勞」。古民家と現代アートが融合した展示。恐らく「かまど」だったと思われる保けた土壁にアクリル越しの太陽光がそそぐ。

残念ながら作者は島に居なかつたので話を聴く事ができなかった。途中「大聖堂」で茶粥のお接待を受ける。高見島応援団「ささえ隊」の吹き出しである。感謝。

錆色の旅。覚悟のイロハ。時のふる家・除虫菊の家・うづりかわりの家・と観賞し最後は港の・漁師と職人。

どの作品も見学者で賑わっているが、港エリアはゆつくりと観賞出来る。当日は母校の木野祭とかぶってしまった。学生との交流が無かつたのが心残りであるが帰りのフェリーの時間も近づいている。

今回の高見島プロジェクトは京都精華大学色が薄かつたかな。と思いつながら相変わらず季節風の強い瀬戸内海を眺め、多度津港行きフェリーに乗った。作品展示は港から入海戦術で展示場まで運ばなければならぬ。重い荷物を持つてあの坂道を上り下りしたのだらう。関係者には頭の下がる思いである。感謝。



読者プレゼント

ayako.ceramics さんの高見島オリジナルプローチ 1名様
住所・氏名・学籍番号をご記入のうえ西日本支部 事務局までメールでご応募ください。

木野会 西日本支部 facebook

木野会西日本支部 事務局

〒768-0040 うどん県観音寺市柞田町丙 954 アキヤマ写真事務所内
TEL FAX : 0875-82-7260 e-mail : gate@chorus.ocn.ne.jp



大垣探訪

2016年10月22日開催

今年の東海イベントは、松尾芭蕉「奥の細道」の終着地としても知られる、「水都」岐阜県大垣市を訪ねました。

まずは、大垣城近くの「田中屋せんべい総本家みそ入り大垣せんべい」作り体験からスタート。その後、国指定名勝の「大垣船町川湊」を散策。美しい川面を眺め、芭蕉時代の風情を楽しみつつ、陶芸教室「和（なごむ）工房」に到着。ここでは箸置き制作体験で、みなさんの創作ごころが存分に発揮されました。

最後に、今回の懇親会場「大衆酒場 盛升（もりしょう）」で昭和の居酒屋の味と雰囲気を堪能し、大垣の夜が更けてゆきました。参加のみなさん、お疲れさまでした。

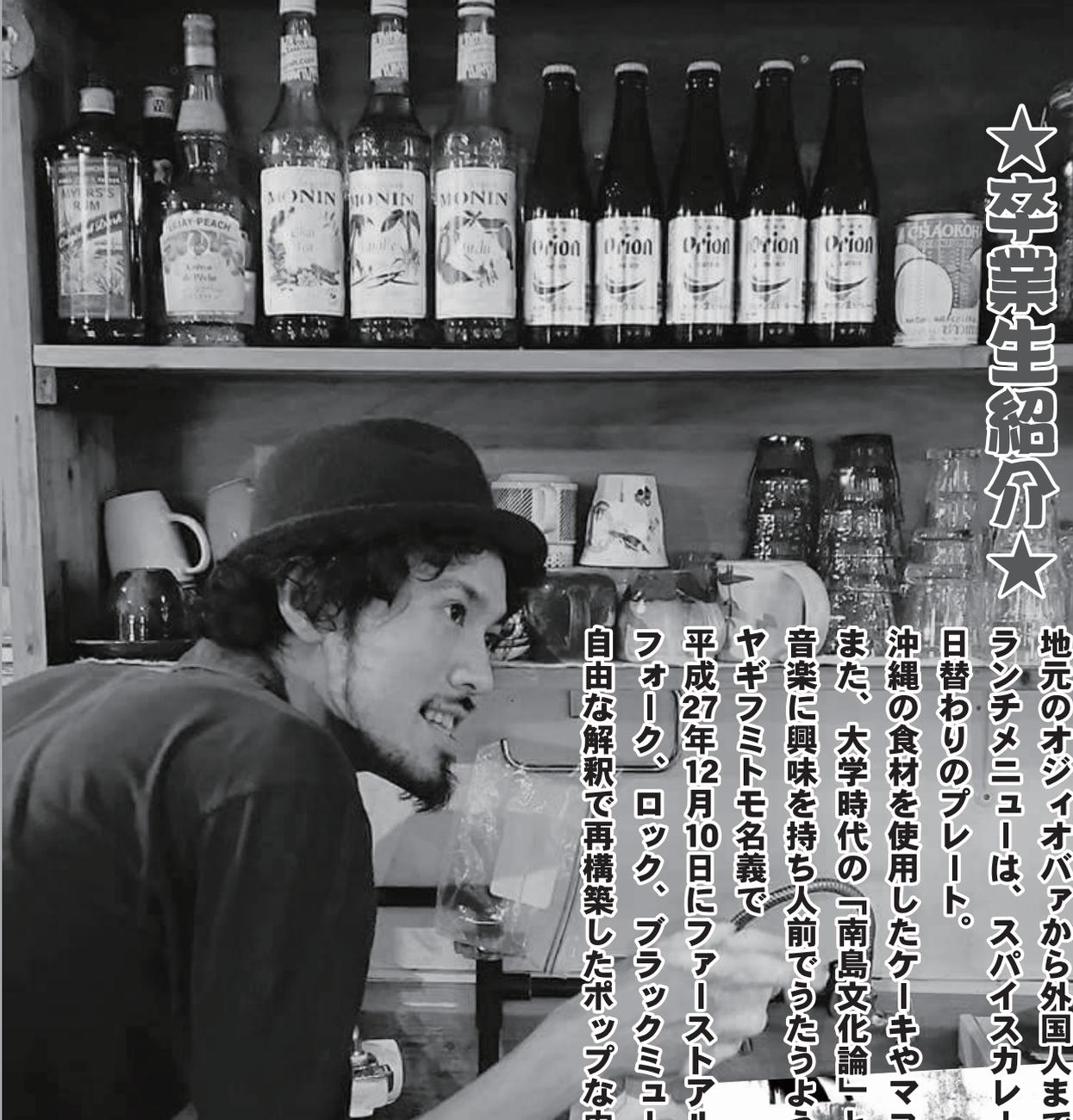


RYUKYU SEIKA

203B149 屋宜 史知

木野会 沖縄支部

★卒業生紹介★



人文学部文化表現学科に在籍

地元である沖縄県那覇市でカフェ「Kitchen FUKIYA」を経営。

昭和の面影がまだ残る那覇の下町にある小さな店に、

地元のオジイオバアから外国人までさまざまな人たちが訪れる。

ランチメニューは、スパイスカレー（内容は週替わり）と

日替わりのプレート。

沖縄の食材を使用したケーキやマフィンなどの手作り菓子も。

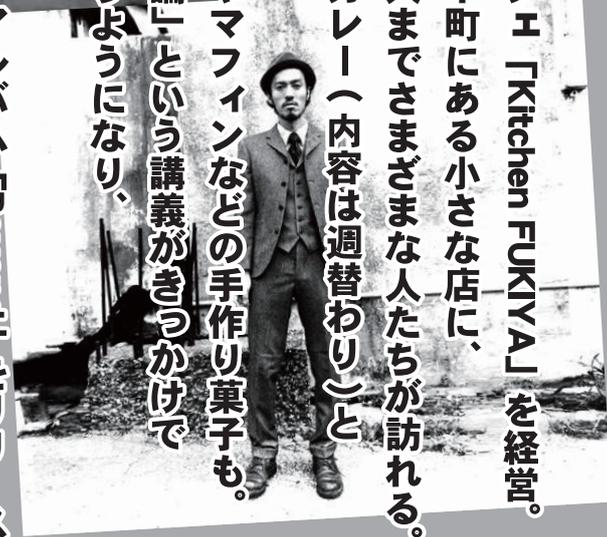
また、大学時代の「南島文化論」という講義がきっかけで

音楽に興味を持ち人前でうたうようになり、

ヤギフミトモ名義で平成27年12月10日にファーストアルバム「Beyond」をリリース。

フォーク、ロック、ブラックミュージックから民謡までを、

自由な解釈で再構築したポップな内容になっている。



Kitchen FUKIYA
090-6903-8637
沖縄県那覇市樋川 2-1-7

韓国支部・関東支部

次回公開

スタッフ募集

ただ今 ~~玉~~ 募集中です。

大変ご迷惑を

おかけしています。

木野会



2017年度木野会イベント募集のお知らせ

木野会 イベント開催 申請書

京都精華大学同窓会 木野会

主催 責任者	手続番号	氏名
直任者連絡先 閉鎖日	電話番号	メール
場所	メインイベント	
告知方法	懇親会	
告知地域		
告知学年		
参加予定人数		
イベント内容		
イベントスケジュール		
費用概算		
備考		

募集する企画例

ゼミやサークルの集まりを発展させたイベント、懐かしい先生を招いた講演会、現役学生も招いたビジネス交流会、ありそうでなかった大運動会など…

補助額 上限 20万円

使途例 イベント打合せ費、会場費、ゲスト招聘費など

審査方法

会員から提出された「申請書」を理事会において「木野会定款」をふまえて協議し、会員相互の親睦や、大学と木野会の協調と発展などを目的とした企画に対して、支援を決定します。

採用後について

採用された企画は木野会公式イベントとなります。イベントの実施は申請者本人（または団体）に行ってくださいますが、木野会本部（京都）または各支部にも気軽にご相談ください。なお、イベント終了後に「イベント報告書」（領収書含む）の提出が必要です。

応募期間

第1次募集 2017年3月31日締切

第2次募集 2017年8月31日締切

※2017年度も、会員への周知のために、第2次募集期間を設けています。

応募方法

上記上の「申請書」を木野会ホームページからダウンロードするか、木野会事務局に送付を依頼して取り寄せてください。必要事項を記入のうえ、Eメールまたは郵送にて木野会事務局までお送りください。

精華人ホームページ

<http://seikajin.com/>

お問合せ先・送付先

〒606-8588

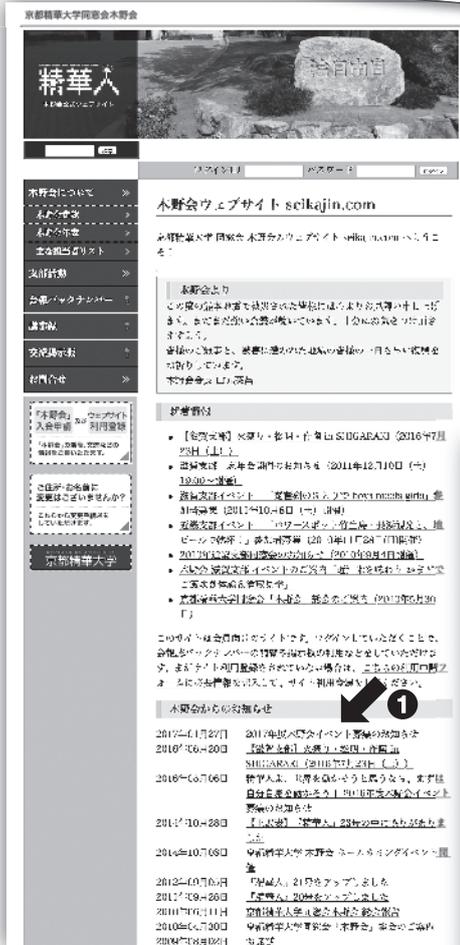
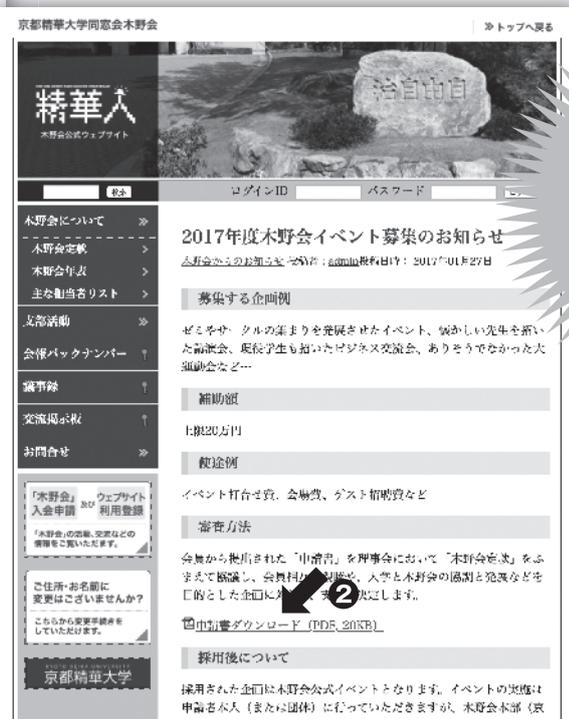
京都市左京区岩倉木野町137 京都精華大学 企画室

木野会事務局宛

TEL : 075-702-5201 FAX : 075-702-5391

Eメール : kinokai@kyoto-seika.ac.jp

「2017年度木野会イベント募集のお知らせ」ページ



「申請書」のダウンロードは木野会ホームページのトップページ「木野会からののお知らせ」内の2017年01月27日付け「①2017年度木野会イベント募集のお知らせ」ページ「②申請書ダウンロード」ページから。

これまでの木野会の活動は、全国の支部が主催するイベントが主なものでしたが、この度、新しく会員個人による企画枠を設け、幅広く募集しております。いままで以上に会員同士の交流を活発にし、みなさんと共に精華を盛り上げて行きたいと思っております。たくさんのご応募をお待ちしています。

精華人ホームページが刷新予定！
会員同士、より活発な情報提供の場として利用できるように移行作業を検討しております。もうしばらく、楽しみにお待ちください。

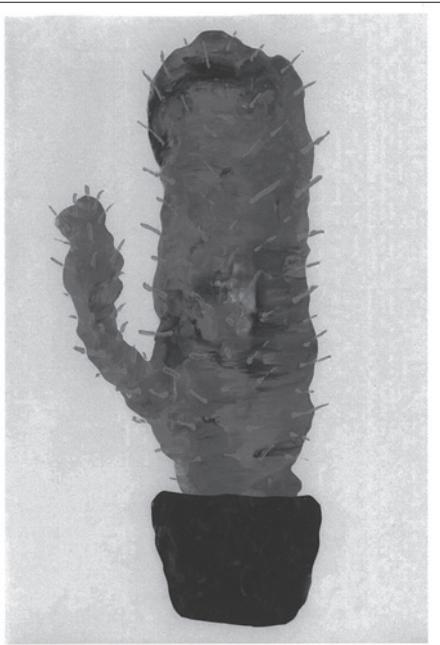
京都精華大学同窓会「木野会」

活動奨励制度始動！

京都精華大学同窓会木野会では、これまで在学生支援として就職活動の手引き「キャリアブック」を制作し配布してまいりました。しかし、もっと直接的に学生の支援ができないかと大学と会議を重ね模索した結果、この度「京都精華大学同窓会木野会活動奨励制度」を設置するに至りました。

学生の自主的な研究・制作活動を支援することで、研究のさらなる発展と学修意欲を高めることを目的とし、学内外における個展やグループ展、イベント等の企画、参加。国際会議及び日本学術会議への参加や研究発表。国内外のコンペティションや公募展等への出品。地域社会活性化のための活動など。

これら学生から申請されたものに対して学内選考委員会が推薦した個人、団体に対して奨励するものとなりました。さらに、対象となる活動の広告チラシやポスター、パンフレットなどには、精華人のロゴを記載し「木野会活動奨励制度」の助成を受けていることとしました。ここでは、「第1回京都精華大学同窓会木野会活動奨励制度」に選ばれたものの一部を紹介致します。



Fabrication
Taketo Mori exhibition
2.6 - 2.12
(lastday 11:00~18:00)
〒600-8411
Karasu
京都市下京区烏丸西条下ル水鏡屋町620番地
COCON KARASUMA 3F
営業時間：11:00~20:00

Karasu 木野会 この活動は京都精華大学同窓会の助成により行なわれています。



第29回木野会総会報告

二〇一六年七月三日 京都精華大学本館四階会議室に於いて「京都精華大学同窓会木野会」の総会が開催された。関東、東海、滋賀、近畿、西日本、九州、沖縄、韓国の各支部長・副支部長をはじめ常任理事、理事、監事、評議員、会員参加のもと始められた。

議長に藤森千景常任理事(78D)が選出され、それぞれ支部の活動報告に続き財務担当より決算の報告がされた。会計監査担当の小堀達夫氏(68E)より会計報告書に対し鋭意精査の上相違が無かつたことを告げられた。その後二〇一七年度活動計画、予算案が報告され質疑応答の後、すべての議事において承認された。総会終了後「れあた」で懇親会が設けられ散会となった。

木野会が引き続き木野祭に模擬店出店



今年も学園祭に模擬店を出店致しました。木野祭と名称が戻っていることを気付く人も少ないなか、昨年に続き山田悟史氏(204k)に出店して貰いました。今回日程が3日以上は平日開催となった為卒業生の参加は少なくなりましたが、教職員、OBの集まる場所として機能していました。また、在学生の木野会への認知度も年毎に上がってきていて、Live Stageでは木野会のブースを宣伝してくれていました。今年は寒さも手伝って「油そば」「もずく野菜天」は完売となりました。山田さんお疲れ様でした。美味しいご馳走ありがとうございました。

第30回木野会総会のご案内

2017年7月9日(日)

場所：京都精華大学内 午後3時30分～

総会終了後、会員相互の場として懇親会を設けます。是非、皆様ご参加下さい。



京都精華大学同窓会「木野会」会計報告

■会計予算書 2016年4月1日～2017年3月31日

収入の部

科目	摘要	予算額
前年度繰越金	2015年度より繰越	41,582,896
会費収入	前受け金振替 既卒業生	7,340,000 50,000
受取利息		5,000
合計		48,977,896

支出の部

科目	摘要	予算額
事業費①	会報 全般	2,000,000
	総会 懇親会費	150,000
	ホームページ管理費	100,000
	ホームページ更新料	700,000
	卒業式活動費	150,000
事業費②	在学生支援	1,000,000
事業費③	50周年記念事業準備費	300,000
事業費④	学園祭参加費	150,000
	小計	4,550,000
支部補助費	西日本支部	81,000
	滋賀支部	37,000
	東海支部	66,000
	近畿支部	58,000
	九州支部	181,000
	沖縄支部	58,500
	韓国支部	100,000
	関東支部	57,000
	小計	638,500
	支部イベント費	西日本支部
	滋賀支部	97,000
	東海支部	101,400
	近畿支部	0
	九州支部	207,800
	沖縄支部	31,120
	韓国支部	0
	関東支部	82,000
	小計	573,320
会員イベント費		500,000
常任理事会経費		240,000
旅費・交通費	理事会 役員会 総会	2,500,000
会議費		30,000
通信費	一般通信等	150,000
事務費		100,000
慶弔費		30,000
手数料	振込手数料	5,000
雑費	保険料等	40,000
予備費		200,000
合計		9,556,820
次年度繰越金		39,421,076
総計		48,977,896

■会計決算報告書 2015年4月1日～2016年3月31日

収入の部

科目	摘要	予算	決算	差額
前年度繰越金	2014年度より繰越	40,396,411	40,396,411	0
会費収入	2015年度振替	8,070,000	8,070,000	0
	既卒業生、在学生	50,000	40,000	10,000
	小計	8,120,000	8,110,000	10,000
受取利息		20,000	5,316	14,684
合計		8,140,000	8,115,316	24,684
総計		48,536,411	48,511,727	24,684

支出の部

科目	摘要	予算	決算	差額
事業費①	会報全般	2,000,000	1,819,128	180,872
	総会 懇親会費	200,000	58,000	142,000
	ホームページ管理費	100,000	90,720	9,280
	ホームページ更新料	500,000	0	500,000
	広報活動費(卒業式その他)	500,000	67,100	432,900
事業費②	大学支援	0	0	0
事業費③	会員親睦	0	0	0
各種同窓会補助費		100,000	0	100,000
支部補助費	西日本支部	92,000	48,728	43,272
	滋賀支部	145,000	54,330	90,670
	東海支部	267,000	185,443	81,557
	近畿支部	188,000	48,272	139,728
	九州支部	610,000	438,241	171,759
	沖縄支部	299,000	96,230	202,770
	韓国支部	360,000	336,880	23,120
	関東支部	365,000	5,000	360,000
	小計	2,326,000	1,213,124	1,112,876
	常任理事会経費		240,000	223,984
旅費 交通費	理事会 役員会 総会	2,000,000	2,481,969	▲481,969
会議費		30,000	13,495	16,505
通信費	総会案内、一般通信等	750,000	849,347	▲99,347
事務費	事務消耗品等	100,000	9,214	90,786
慶弔費		30,000	10,800	19,200
手数料	振込手数料	5,000	1,556	3,444
雑費	保険料等	40,000	81,074	▲41,074
予備費		200,000	9,320	190,680
合計		9,121,000	6,928,831	2,192,169
次年度繰越金		39,415,411	41,582,896	▲2,167,485
総計		48,536,411	48,511,727	24,684

*収入の部の▲印は予算額より決算額の増額を、支出の部の▲印は決算額の予算超過を意味します。

注) 大学会計口座受取利息 ¥4,570 支部受取利息 ¥470 郵貯受取利息 ¥276

*支部補助費欄外(+)の数字は本年度各支部の受取利息額(単位円)です。

*支部補助金繰越額明細 西日本支部 ¥43,287 滋賀支部 ¥90,685 東海支部 ¥81,557 近畿支部 ¥139,749 九州支部 ¥171,821 沖縄支部 ¥202,780 韓国支部 ¥23,420 関東支部 ¥360,047

※同窓会からの案内や会報誌のご不要な方は、木野会事務局までおしらせください。